

# 郡津から寝屋川公園へ

(第 64 回くらわん会 2001/10/02)

神無月を迎えてめっきり涼しくなった。京阪郡津駅に集合し準備運動中に通り雨に見舞われたがすぐに見事な秋晴れが戻る。今回はくらわん会の累計参加 50 回記念を初めて三人の方に贈られる記念の催しになった。

さわやかな風に吹かれながら天の川を渡り、日頃通り馴れている筈の茄子作、高田、星田、寝屋の田園地帯を歩く。たわわに実って刈り入れが始まった稲穂や、コスモス、曼珠沙華、虫食いの芋蔓の葉が秋を知らせてくれる。

茄子作の外れに本尊掛け松の遺跡がある。いつも通りながら気付きもしなかったが、融通念仏宗の法明上人が念仏踊りを始めたところだという。

茄子作が地元の高濱世話人が、今は本当に珍しくなった舗装していない農道ばかりのコースを設定していただいた。お陰で身近に秋を満喫することが出来る。

東高野街道と京街道を東西に結ぶ山根街道の入り口に寝屋長者屋敷跡があり、今は小公園になっている。寝屋川市のマスコットキャラクター「鉢かづきちゃん」のもとになった「寝屋長者鉢記」にある屋敷跡のようだ。

学研都市線沿いのあぜ道をくねくねと行くと、寝屋川公園の入り口にでた。

ふれあいの丘で昼食の跡、すぐ隣にある寝屋古墳を覗いてみた。古墳時代後期（六世紀末から七世紀初頭）に築造されたもので、横穴式石室は北河内地域最大といわれている。

今回はくらわん会の累計参加 50 回記念を初めて三人の方に送られる記念の催しになった(原 真智子さん)



さわやかな風に吹かれながら新天の川橋を渡り茄子作へ



さわやかな秋風がわたる天の川に、サギと亀が並んで日向ぼっこしていた



日頃通り馴れている筈の茄子作、高田、星田、寝屋のたわわに実った稲穂の中を歩く  
本尊掛け松の遺跡は融通念仏宗の法明上人が念仏踊りを始めたところだとい





可憐なコスモスが秋風に揺れ動いて、なんともいえない風情を醸し出している

寝屋川公園はなみはや国体の会場になったこともあり、野球場や、陸上競技場、テニスコート、芝生広場など、よく整備された施設があり、豊かな緑の中に散策道が巡らされている。広い園内を一周して程良い疲れを感じた頃、学研都市線が整備されて新しくできた駅JR東寝屋川駅に着いた。今日は身近なところに小さい秋を見付けながら、仲間と語らうことの出来た気持ちの良い一日だった。

富田朝己記



山根街道の入り口に寝屋長者屋敷跡が小公園に、この辺りには数本の松が植わり小さな池があったらしい

寝屋川公園入り口のふれあいの丘で昼食休憩をとる



寝屋古墳は古墳時代後期に築造され、横穴式石室は北河内地域最大といわれ

整備された施設があり、豊かな緑の中に散策道が巡らされている



野球場が二つもある、こちらは観覧席やハウスも整備された立派な球場

広い園内を一周して程良い疲れを感じた頃、学研都市線の新しくできた駅、JR東寝屋川駅近くで解散





<行程>

京阪郡津駅⇒新天の川橋⇒本尊掛け松⇒寝屋長者屋敷跡（山根街道）⇒寝屋川公園（寝屋古墳）⇒JR東寝屋川駅 8km  
 2001年10月2日 129名参加